

令和5年度（2023年度） 卒業生に関するアンケート（就職先アンケート） 結果

<本調査について>

1 目的

卒業生のキャリア（就職）状況に関する調査を実施し、調査内容及び結果について公表するとともに、今後の教育活動の改善に活用する。

2 対象者

令和元・2・3年度（令和2・3・4年3月）卒業生 90名

3 調査方法

郵送によるアンケート用紙の送付および返信用封筒またはFAXによる回答の回収

4 調査期間

アンケート発送日：令和5年8月25日 回答期限：令和5年9月22日

5 回答率

学科・専攻	令和3年度 卒業生			令和2年度 卒業生			令和元年度 卒業生			合計		
	依頼数	回答数	回答率(%)	依頼数	回答数	回答率(%)	依頼数	回答数	回答率(%)	依頼数	回答数	回答率(%)
児童教育学科	28	23	82.1	22	16	72.7	28	24	85.7	78	63	80.8
情報メディア学科	3	3	100	4	3	75.0	5	1	20.0	12	7	58.3
合計	31	26	83.9	26	19	73.1	33	25	75.8	90	70	77.8

6 アンケート結果

※表における学科・専攻の表記方法について

児童：児童教育学科 情報：情報メディア学科

設問1. 貴事業所の名称をご記入ください。

省略

設問2. 本学卒業生は、現在も貴事業所にて勤務していますか。該当する番号に○をつけてください。※転勤等の場合も、「1. はい」でお答えください。

		令和3年度卒		令和2年度卒		令和元年度卒		全年度	
		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
児童	n	21	2	14	2	13	11	48	15
	%	91.3%	8.7%	87.5%	12.5%	54.2%	45.8%	76.2%	23.8%
情報	n	3	0	2	1	1	0	6	1
	%	100%	0.0%	66.7%	33.3%	100%	0.0%	85.7%	14.3%
全学科	n	24	2	16	3	14	11	54	16
	%	92.3%	7.7%	84.2%	15.8%	56.0%	44.0%	77.1%	22.9%

設問3. 本学卒業生は、採用時に以下の能力等をどの程度身に付けていたと思われますか。該当する番号に○をつけてください。

- 4 身に付けていた 3 ある程度身に付けていた
 2 あまり身に付けていなかった 1 身に付けていなかった

<4段階評価の平均値>

		令和3年度卒	令和2年度卒	令和元年度卒	全年度
1. 専門的知識・技能	全学科	2.67	2.72	2.67	2.68
	児童	2.67	2.87	2.70	2.73
	情報	2.67	2.00	2.00	2.29
2. 一般的知識・教養	全学科	3.00	2.78	2.75	2.85
	児童	3.00	2.87	2.74	2.86
	情報	3.00	2.33	3.00	2.71
3. 課題解決力	全学科	2.71	2.78	2.50	2.66
	児童	2.71	2.87	2.52	2.68

	情報	2.67	2.33	2.00	2.43
4. コミュニケーション力	全学科	3.21	2.89	2.88	3.00
	児童	3.24	3.00	2.91	3.05
	情報	3.00	2.33	2.00	2.57
5. 実践的応用力	全学科	2.71	2.61	2.29	2.53
	児童	2.67	2.67	2.30	2.53
	情報	3.00	2.33	2.00	2.57
6. IT 活用能力	全学科	2.95	2.83	2.79	2.86
	児童	3.00	2.93	2.78	2.89
	情報	2.67	2.33	3.00	2.57
7. 自己研鑽力	全学科	2.91	2.72	2.58	2.74
	児童	2.95	2.73	2.61	2.76
	情報	2.67	2.67	2.00	2.57
8. 誠実性	全学科	3.45	3.28	3.13	3.28
	児童	3.47	3.40	3.13	3.32
	情報	3.33	2.67	3.00	3.00
9. 主体性	全学科	2.79	2.89	2.57	2.74
	児童	2.81	3.00	2.59	2.78
	情報	2.67	2.33	2.00	2.43
10. 協働性	全学科	3.17	3.00	2.91	3.03
	児童	3.14	3.07	2.95	3.05
	情報	3.33	2.67	2.00	2.86
11. 社会人としてのマナー	全学科	3.21	2.94	2.92	3.03
	児童	3.29	3.07	2.91	3.08
	情報	2.67	2.33	3.00	2.57
項目 1~11 の全平均	全学科	2.98	2.86	2.73	2.85
	児童	3.00	2.95	2.74	2.89
	情報	2.88	2.39	2.36	2.60

< 「身に付けていた」「ある程度身に付けていた」と回答した割合 >

		令和3年 年度卒	令和2 年度卒	令和元 年度卒	全年度
1. 専門的知識・技能	全学科	66.7%	72.2%	62.5%	66.7%
	児童	66.7%	80.0%	66.7%	69.5%
	情報	—	—	—	42.9%
2. 一般的知識・教養	全学科	83.3%	72.2%	66.7%	74.2%
	児童	81.0%	80.0%	65.2%	74.6%
	情報	—	—	—	71.4%

3. 課題解決力	全学科	62.5%	61.1%	45.5%	56.3%
	児童	61.9%	66.7%	47.6%	57.9%
	情報	—	—	—	42.9%
4. コミュニケーション力	全学科	83.3%	66.7%	66.7%	72.7%
	児童	85.7%	73.3%	69.6%	76.3%
	情報	—	—	—	42.9%
5. 実践的応用力	全学科	54.2%	61.1%	29.2%	47.0%
	児童	47.6%	66.7%	30.4%	45.8%
	情報	—	—	—	57.1%
6. IT 活用能力	全学科	77.3%	72.2%	70.8%	73.4%
	児童	78.9%	73.3%	69.6%	73.7%
	情報	—	—	—	71.4%
7. 自己研鑽力	全学科	65.2%	66.7%	45.8%	58.5%
	児童	65.0%	66.7%	93.3%	58.6%
	情報	—	—	—	57.1%
8. 誠実性	全学科	95.5%	88.9%	75.0%	85.9%
	児童	94.7%	93.3%	73.9%	86.0%
	情報	—	—	—	85.7%
9. 主体性	全学科	66.7%	61.1%	43.5%	56.9%
	児童	66.7%	66.7%	45.5%	58.6%
	情報	—	—	—	42.9%
10. 協働性	全学科	87.5%	77.8%	60.9%	75.4%
	児童	85.7%	80.0%	63.6%	75.9%
	情報	—	—	—	71.4%
11. 社会人としてのマナー	全学科	75.0%	77.8%	75.0%	75.8%
	児童	81.0%	86.7%	73.9%	79.7%
	情報	—	—	—	42.9%

※情報メディア学科はサンプル数が少ないため、全年度における数値のみ掲載。

設問4. 本学卒業生の能力や職務に対する意識の水準について、どのように評価されますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 高い 2. どちらかといえば高い 3. どちらかといえば低い 4. 低い

<全学科>

		高い	どちらかとい えば高い	どちらかとい えば低い	低い
令和3年度卒	n	3	14	5	1
	%	13.0%	60.9%	21.7%	4.3%

令和2年度卒	n	2	9	8	0
	%	10.5%	47.4%	42.1%	0.0%
令和元年度卒	n	4	6	11	1
	%	18.2%	27.3%	50.0%	4.5%
全年度	n	9	29	24	2
	%	14.1%	45.3%	37.5%	3.1%

<学科別>

【児童教育学科】

		高い	どちらかといえ ば高い	どちらかといえ ば低い	低い
令和3年度卒	n	3	11	5	1
	%	15.0%	55.0%	25.0%	5.0%
令和2年度卒	n	1	8	7	0
	%	6.3%	50.0%	43.8%	0.0%
令和元年度卒	n	4	6	10	1
	%	15.0%	55.0%	25.0%	5.0%
全年度	n	8	25	22	2
	%	14.0%	43.9%	38.6%	3.5%

【情報メディア学科】

		高い	どちらかといえ ば高い	どちらかといえ ば低い	低い
令和3年度卒	n	0	3	0	0
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
令和2年度卒	n	1	1	1	0
	%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
令和元年度卒	n	0	0	1	0
	%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
全年度	n	1	4	2	0
	%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%

設問5. 本学の卒業生は、貴社の人材ニーズや期待に役立っていると思われますか。
該当する番号に○をつけてください。

1. 役立っている 2. どちらかといえば役立っている 3. あまり役立っていない
4. 役立っていない

<全学科>

		応えている	どちらかといえ ば応えている	あまり応えて いない	応えていない
令和3年度卒	n	9	10	4	0
	%	39.1%	43.5%	17.4%	0.0%
令和2年度卒	n	4	13	1	1
	%	21.1%	68.4%	5.3%	5.3%
令和元年度卒	n	6	11	3	2
	%	27.3%	50.0%	13.6%	9.1%
全年度	n	19	34	8	3
	%	29.7%	53.1%	12.5%	4.7%

<学科別>

【児童教育学科】

		応えている	どちらかといえ ば応えている	あまり応えて いない	応えていない
令和3年度卒	n	7	9	4	0
	%	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%
令和2年度卒	n	3	12	0	0
	%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
令和元年度卒	n	6	10	3	2
	%	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%
全年度	n	16	31	7	2
	%	28.6%	55.4%	12.5%	3.6%

【情報メディア学科】

		応えている	どちらかといえ ば応えている	あまり応えて いない	応えていない
令和3年度卒	n	2	1	0	0
	%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
令和2年度卒	n	1	1	1	1
	%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
令和元年度卒	n	0	1	0	0
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
全年度	n	3	3	1	1
	%	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%

設問6. 以下の能力等について、貴事業所において業務を遂行していく上で特に重要と思われるものを3つ選び、番号に○をつけてください。

	児童		情報		全学科	
	合計	順位	合計	順位	合計	順位
1. 専門的知識・技能	16	5	1	5	17	6
2. 一般的知識・教養	5	10	1	5	6	10
3. 課題解決力	6	9	1	5	7	9
4. コミュニケーション力	42	1	7	1	49	1
5. 実践的応用力	11	7	0	9	11	7
6. IT活用能力	0	12	0	9	0	12
7. 自己研鑽力	11	7	0	9	11	7
8. 誠実性	23	3	1	5	24	4
9. 主体性	21	4	4	2	25	3
10. 協働性	30	2	3	3	33	2
11. 社会人としてのマナー	16	5	3	3	19	5
12. その他	2	11	0	9	2	11

※「12.その他」の記載内容：素直さ、整理整頓

設問7. 本学学生が学生時代に身に付けておくべき能力等について、ご意見等がございましたら、お聞かせください。

<能力等>

○幼稚園、こども園

- ・「専門的知識・技能」はもちろんですが、まず「人の話を聞くこと」そして「分からないことは質問すること」という先輩たちとの関りが持てるような能力が必要だと思います。
- ・わからないことは職場の先輩にすぐ聞くという習慣が身に付いたらと思います。
- ・支援が必要な子が増えているので、特別支援教育をしっかり学んで欲しい。親の信頼を得るための説明責任能力やコミュニケーション力は担任を持つ上では大切です。
- ・個々（年齢）の育ちを理解し、こどもの成長を見取る力。子どもの興味、関心に合わせた環境構成を考えられる力
- ・ありのままが一番。耐える力（忍耐力）。子どもと楽しむ力
- ・社会人になり自分の意見をはっきり伝えられる事はとても良いことだと思う。もう一つ身に付けていただきたいと思ったことは職場の仲間と共に働く場なので相手を気にかけたり、思いやりの気持ちを常に持つことでコミュニケーションも増え、さらに働きやすくなるのではないかなと思う。

- ・当園ではチーム保育に力をいれているため、コミュニケーション能力は高ければ高い方が良いかと思います。子どもだけでなく、保護者支援も大きな課題ですので、必要となってきます。

○保育所、施設

- ・コミュニケーション力は大事です。子供・保護者・職員同士と人とかかわる仕事です。笑顔と言葉遣い、困ったときに先輩にどうしたらいいですかと言えることも大切です。保育士は大変な仕事ですが、やりがいのある仕事です。すぐやめたと言わず、いろんな経験をして、仕事が楽しい、子どもがかわいいと思える保育士さんになってほしいです。
- ・コミュニケーション力が大切な時代になりました。わからない事を聞くことができること。自分が大変な時は HELP が伝えられる事ができたらよいと思います。
- ・誰かが何かをしていたら手伝う。「ありがとうございました」と必ず伝えることができる。挨拶ができる。コミュニケーションがしっかりとできると良いです。
- ・一般的知識・教養はもとより、保育士としての専門的知識・技能、さらにコミュニケーション力を身につけておくべきかと考えます。
- ・学ぼうとする意欲。素直さ。今後は IT 活用能力も必要となってきます
- ・今後は更に IT 活用能力が必要となってくると思うので、身につけておいた方がよいと思います。
- ・TPO に合わせた言葉使い（正しい日本語の習得）。文章能力の強化（今の時代 IT も大事ですが、まずは文章を書く力、文書を理解する力を身につける）。礼儀作法（あいさつ他）
- ・実践で役立つ手遊び、歌遊び、体操やダンスなどできるとよいと思う。自分の好きなこと自分の得意なものをもつ。
- ・子どもに対して誠実に向き合い、前向きに取り組める方がよいと思います。
- ・専門的知識や技能は入職後でも学べます。未満児園では特に複数担任でクラスをまわすので、コミュニケーション力や協働性、まわりを見て動く力がある方が入職後現場に入ってもスムーズに動け働きやすくなると思います。
- ・社会人としてのマナーなど基本のところは、実習などに出される際などにしっかり指導され、フォローも必要かと思います。その上での専門性だったり、課題に向かう力だったり身についてくるのかなと感じます。
- ・大人として社会人として子ども達に伝えるべきことを判断する力、周りのことに気づく力、行う前から諦めることなくやってみようとする意識を身につけ、プロとして仕事をするという意識を持って職場に臨んでほしいです。
- ・卒業し就職してから育てていく能力も多くあって良いと考えています。教わろう、学ぼうという姿勢、謙虚さなどがあるとよいのではと思います。
- ・支援する母や子の人権も尊重する

○一般企業

- ・資格面では、IT パスポート、基本情報技術者検見、応用情報技術者試験（情報通信・SE）
- ・協調性、コミュニケーション力、発言力、自立心（医療・事務）
- ・素直な心（保険・営業）